

いまでもあしたも誇れる座間であるために...

発行者：おぎはら健司
メールアドレス：info@ogiharakenji.com
連絡先：042-705-5119 (ファックスも同じ)

おぎはら健司の市政レポート

平成28年第三回定例会

梅雨も空け、夏本番を迎えて日本列島ですが、東京都知事選も終わり、史上初の女性都知事が誕生しました。今回の都知事選は、複雑な構図で迎えましたが、NHKの調査によれば自民党支持層に加え、同程度存在した無党派層の支持を集めた小池百合子さんが勝利を収めました。今後は、自民党議員が多数派を占める都議会との関係や、政府・与党との関係をどのように修復するのか、お手並み拝見といったところです。

また、甘利明代議士に対する検察審査会の結論も出されました。不起訴を不当として申し立てがなされていましたが、司法当局の判断は「甘利代議士はシロ」というものでした。しかし、公設秘書2名については「疑わしさが残る」ため、再度調査が必要とのことで、不起訴不当との判断。更なる真相究明のため、しっかりとした捜査が行われるものと思います。

さて、表題の件ですが、去る7月29日に議会運営委員会が開催され、日程が8月5日から29日までと決定されました。

今回の定例会は任期中の最後の議会となり、平成27年度座間市の一般会計・特別会計をあわせた決算状況を審査することが主たる目的となっております。

平成27年度決算の状況は、一般会計の歳入総額が408億7,044万304円、歳出総額が394億3,434万8,145円となり、平成28年度へ繰り越すべき財源1億4,061万1,000円を差し引いた12億9,548万1,159円の黒字計上で、前後の年度間の調整を除いた実質単年度収支は平成26年度を大幅に上回る6億2,523万2,235円となりました。

これで平成22年度から続けて6年連続の

黒字計上となりましたが、様々な施策を実施するための財源となる「自治体のへそくり」とも言える財政調整基金も15億円近くまで積み増すことができました。

歳入の状況について

歳入の根幹を成す市税収入の内訳は、個人市民税では前年度比0.8%、5,875万7千円増となる75億7,673万5千円、法人市民税は71%、6億8,507万3千円増となる16億4,996万2千円と大幅な増額となりましたが、特に法人市民税については為替が円安になり、自動車業界を中心とする輸出関連の企業収益が大幅増となった影響が大きく、イギリスのEU離脱による円高が進んだ状況を考慮すると平成28年度の状況が気になるところです。

また、固定資産税についても前年度比0.4%、3,160万7千円増の76億4,723万1千円となりましたが、これは土地・建物の評価額が上昇した影響による増収となっています。

また、低燃費への期待や性能向上に伴う軽自動車への買い替えも進み、軽自動車税は3.6%、405万7千円増の1億1,719万1千円になりました。(自動車重量税は国税、自動車税は県税ですが、軽自動車税は市税になります)

さらに、昨今の健康志向に伴い、市たばこ税は0.3%、252万5千円減となる7億2,718万1千円になっています。(たばこ税は市税で貴重な自主財源となっているからこそ、市内販売店での購入をお願いしております)

歳出につきましては、次号以降で詳細をお知らせして参ります。